

高齢者が健康で 元気な千葉市に



元気な高齢者になるために、江戸川区で実施しているリズム運動大会

「健康で長生きしたい」は、高齢者の願いです。党市議団は、病気の早期発見と予防を重視し、集い・交流・外出支援など「高齢者元気プラン」を策定し、市が支援するよう提案しました。

障がい者が地域で 豊かに暮らせる保障を

民間企業に障害者の雇用拡大を求めます。新設のスポーツ振興基金を活用して、施設整備や障害者利用枠の拡大、障害者スポーツ指導者を育成し、誰もがスポーツに親しめる環境を整備するよう提案しました。



高齢者を敬う 高齢者福祉こそ

現市長のもとで高齢者福祉が削られてきました。

党市議団は、88歳になった人を平等に敬うために、祝い金を復活させ支給するよう提案しました。

高齢になっても 外出できるように

高齢者の外出支援のためにデマンド(乗合)タクシー・コミュニティバスを導入する自治体が増えています。

敬老乗車券の復活とともに買い物や通院、社会参加を促進させる取り組みへの支援が必要です。

新しい市役所整備 建設ありきの姿勢ただす

党市議団は、市役所の建て替えの必要性は認めています。築47年の現庁舎は応急の耐震工事を行えば当面使えます。市の所有となった中央コミュニティセンターへ教育委員会の移転など行えば、賃貸料削減などが可能です。

建設費298億円もの資金繰りができるのであれば切実な市民福祉や学校普通教室エアコン設置に予算を回すべきです。

党市議団は、建設業者不足や、建設費高騰の時代であり、新庁舎整備は当分の間凍結して、しかるべき時期に市民の声もよく聞いて行うことを求めています。



市が計画している新しい市役所のイメージ図

人の不幸を踏み台にする カジノは NO!



熊谷市長は、幕張新都心へのカジノを含む統合型リゾート（IR）誘致を「選択肢の1つ」と考えています。ギャンブル依存症をふやし、青少年に悪影響を広げ、暴力団が介入するまちはしてはなりません。幕張新都心の健全な経済発展のため、カジノ誘致をきっぱり断念すべきです。

住民自治を高める公民館は、 市の責任で運営を

指定管理者制度導入は民営化への道です。これまで、市は老朽化対策を放置し、専門職員である社会教育主事を育成してきませんでした。それを指定管理者に委ねることで改善するのは、責任放棄と言わざるをえません。

市民の財産であり、住民自治を高める拠点・公民館は市の責任で運営すべきです。



下上
桜木公民館